

近畿都市学会報

第186号

2014年3月31日
近畿都市学会

近畿都市学会・連絡先

■ 近畿都市学会事務局

〒631-8502

奈良市山陵町1500

奈良大学文学部地理学教室内

近畿都市学会 事務局長（酒井高正）

> Eメール：info@kintoshi.org

> ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

> 電話：0742-41-9539

会費納入先：ゆうちょ銀行 振替口座

00990-7-86235 近畿都市学会

※ゆうちょ以外の金融機関からは下記で送金できます。

ゆうちょ銀行 ○九九店（ゼロキユウキユウ店）

当座 0086235 キンキトシカ`ツカイ

■ 近畿都市学会編集委員会 宛先

（原稿等はすべてこちらにお願いします）

〒530-0001

大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階

大阪市立大学大学院 創造都市研究科内

近畿都市学会 編集委員会

（担当）副編集長：小長谷一之

> 電話：090-4649-2590

> ファックス：072-721-0064

> Eメール：konagaya@zc4.sonet.ne.jp

1. 近畿都市学会55周年記念出版大会

大会テーマ「都市構造と都市政策」

（2014（平成26）年度春季大会）のお知らせ（予定）

近畿都市学会は、会員のみなさまのご活躍により、設立後55周年を迎えることができました。本年度の2014年度春季大会は、55周年記念出版大会となります。ふるってご参加ください。

【日時】2014年6月21日（土）

【会場】奈良大学 【共催】奈良大学地理学教室

【プログラム】（理事会に先立ち会計監査をおこないますので、監査の先生はよろしくご出席の程お願いいたします）

（1）一般研究報告 10時～

（2）理事会・評議員会 12時30分～

（3）新会長挨拶・総会 13時15分～

（4）近畿都市学会創立55周年記念出版大会特別シンポジウム 14時～

「都市構造と都市政策」

<1> 基調講演「コンパクトシティと交通」14時～

近藤勝直氏（流通科学大学名誉教授・関西鉄道協会都市交通研究所企画委員）

<2> パネリストの発表 14時30分～

松澤俊雄（近畿都市学会理事）「都市交通と都市構造」

碓井照子（近畿都市学会理事）「市民参加型GIS」

久隆浩（近畿都市学会理事）「まちづくり」

< 3 > パネルディスカッション 15時30分～

(5) 懇親会 17時30分～ 場所(予定): 学内施設利用

会費(予定): 4,000円(学生[社会人学生は除く] 2,000円)

[懇親会参加者は6月10日までに上記事務局へ電子メールにてお願い致します]

一般研究報告の申込締切 → 5月10日(金) 事務局まで必着

一般研究報告の要旨提出締切 → 5月17日(金) 編集委員会まで必着

[55周年記念出版大会特別シンポジウムに向けて]

きたる2014年6月21日、奈良大学で行われる近畿都市学会の大会では、近畿都市学会創立55周年の記念テーマ「都市構造と都市政策」でのシンポジウムを企画いたしました。

近畿都市学会は、創設以来、当学会の生みの母体である「日本都市学会」の組織として、また同時に自治体とも連携して意欲的に地域貢献も行ってきました。すでに本学会では、2007年の創立50周年にあたり、「21世紀の都市像」プロジェクトを計画、2008年に古今書院より刊行しておりますが、関連機関、学会でも、同じような趣旨の企画がその後現れてきました。

そして、今回2012年の創立55周年にあたり、都市政策や都市構造研究の課題や時代の必要性を踏まえ、21世紀の都市づくりを見据えた都市研究成果を学会の総力を挙げて世に送り出そうと「都市構造と都市政策」の出版を計画することとなり、会報等で、その計画の全容を内外に2011年より何回か公開し、2012年に編集委員会を組織し作業に入りました。編集委員会・執筆メンバーの分野も経済・経営、都市計画、地理と多岐にわたり、職場も多彩です。このように関係諸氏のご努力により、2012年より約2年を費やして、その成果が結実しました(最終頁)。広い意味での都市構造(空間、経済、社会等)をふまえて都市政策・都市づくりを論ずるものです。

今回は55周年を記念したテーマ「都市構造と都市政策」を追求するために、基調講演「コンパクトシティと交通」を、流通科学大学名誉教授・関西鉄道協会都市交通研究所コンパクト化研究会委員長の近藤勝直氏に、そしてパネルディスカッションでは、パネリストとして、松澤俊雄、碓井照子、久隆浩の各氏に、都市交通と都市構造、市民参加型GIS、まちづくり等についてお話いただきます。21世紀の新しい都市論の創造に向けて活発な討論を期待しています。

近畿都市学会会長 山田浩之

Ⅱ. 55周年記念出版大会研究発表の募集

■ 一般研究報告の募集

① 一般研究報告の申し込み

→ 報告題目、報告者氏名(所属と連絡先を必ず明記して下さい) および報告する際の使用機器(スライド、OHP、OHC、プロジェクターなど)を明記したものを、5月10日(金)必着で近畿都市学会事務局まで、電子メールでお送り下さい。

② 報告要旨の提出

→ 報告要旨を作成し、5月17日(金)必着で上記の近畿都市学会編集委員会まで、電子メール(できればテキストファイル)でお送り下さい。なお、フォーマット

はヨコ40字・タテ38行、10.5ポイント、MS明朝（英数はcentury）とし、図表を含めて、1,200字以内とします。

Ⅲ. 2014年度日本都市学会各賞の推薦著書候補を募集します。

2014年度日本都市学会各賞（奥井記念賞、論文賞、まちづくり賞）の近畿都市学会からの推薦候補を募集いたします。対象は、以下の通りです、

【1. 奥井記念賞】日本都市学会会員の著作で、2012年1月1日から2013年12月31日の**2年間**に刊行されたもの。

【2. 論文賞】日本都市学会年報および地域都市学会学術誌論文で、2012年1月1日から2012年12月31日の**1年間**に刊行され、著者が掲載時39歳以下で、単著かファーストオーサーであるもの（本賞のみ、条件の合う方は全て全国の委員会で機械的に審査対象となりますので、支部へのご推薦は要りません）。

【3. まちづくり賞】都市学の発展に貢献し、新しい考え方を示した地域調査機関や行政等の報告書・まちづくり業績（2011年1月1日から2013年12月31日の**3年間**）で、その集団的創作にかかわった会員。

候補のある場合は2014年4月20日までに、近畿都市学会事務局までご連絡ください。近畿都市学会理事会において、日本都市学会への推薦を検討いたします。要綱等についての詳細は日本都市学会ホームページ <http://toshigaku.org/> をご覧下さい。

Ⅳ. 近畿都市学会理事会等のご報告

近畿都市学会2013年度第4回理事会は、2014年2月19日（水）に大阪市立大学文化交流センター談話室（大阪駅前第2ビル6階）で開催され、2014年度春季大会（奈良大学を予定）、2014年度秋季合同大会（日本都市学会と合同、京都市）、55周年記念事業『都市構造と都市政策』、会長選挙を検討しました。第5回理事会は、2014年3月31日（月）に大阪市立大学文化交流センター談話室（大阪駅前第2ビル6階）で開催され、上記の議題を検討し、また以下の新会長を了承しました。

Ⅴ. 近畿都市学会会長選挙 選挙結果のご報告（選挙管理委員長）

近畿都市学会会則第11条（役員の内選）により、次期会長（2014年6月～2016年5月）の選挙を行ったところ、下記の結果となったので、ここに公示する（以下敬称略）。

碓井照子氏 26票、 山田浩之氏 4票（以下1名2票以下の散票）。

※有効投票数 36票（投票締切迄到着分）。

最多得票の碓井照子氏に就任承諾の意思を確認し、同氏を次期会長に決定した。

選挙管理委員長 長尾謙吉（評議員）

Ⅵ. 日本都市学会第61回大会（近畿担当、京都市で開催）のご報告

日本都市学会第62回大会（関東担当、上越市で開催予定）のお知らせ。

日本都市学会第61回大会（2014年度）は、当、近畿都市学会が担当し、2014年10月24日（金）・25日（土）・26日（日）に、「都市、文化、まちづくりー新しい都市学の成立をめざしてー」をテーマに、京都市同志社大学キャンパスにて開催いたします。ふるってご参加ください。

また、日本都市学会第62回大会（2015年度）は、特別に関東都市学会と中部都市学会の順序のご調整により、2015年度は関東都市学会が担当し、2015年10月下

旬に上越市で開催の予定です。詳細はホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整をよろしくお願いいたします。くわしくは、日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/> をご覧下さい。

Ⅶ. 日本都市学会常任理事会のご報告

日本都市学会2013年度常任理事会は、2014年3月16日（水）に名古屋都市センターで開催され、2013年度事業報告・決算、2014年度事業計画・予算案、2014年度大会（上記の近畿担当、京都市）を議論しました。

Ⅷ. 事務局より

■ 新入会員

矢裂 淳（やさき じゅん）

所属：近畿大学大学院総合理工研究科・院生

専門分野・研究テーマ：都市計画（会員種別：学生会員）

杉本昌宏（すぎもと まさひろ）

所属：静岡県立浜松商業高等学校

専門分野・研究テーマ：GIS（地理情報システム）、
GIS教育、防災、都市地理学

■ 退会

西村多嘉子、小林正利、水田義一

■ 除籍

金森康

■ 近畿都市学会入会のおすすめ

近畿都市学会会長 山田 浩之

21世紀は人類の大半が都市民となる空前の「都市の世紀」を迎えます。しかし、この急速な都市化の前には、環境、開発・保存、防災、人口、交通、福祉等の深刻な課題が逼迫しています。これらの課題の調査研究は、従来は土木・建築、地理、経済、社会、政治・法等の諸学会の研究課題として取り組まれてきましたが、それらの総合的研究は、未だ十分な状態にあるとはいえません。都市に関する理論や諸問題を研究し、健全な方向に都市の発展を導くような総合的・学際的「都市研究」が、各方面から要請されています。

こうした要望にこたえ、第二次大戦後、日本都市学会が復活し、1957（昭和32）年にはその支部として近畿都市学会が設立されました。この間、学会では大学その他の研究者と市政担当者との緊密な協力のもとに、都市に関する総合的な調査研究の実をあげてきました。さまざまな都市問題の解決、都市政策の提言・実践が緊急に迫られている今日、更に多くの研究者、公共団体、NPO・NGO等の市民団体の皆様に御入会をいただき、実り豊かな都市研究を押し進めたいと考えています。

この主旨に御賛同のうえ、近畿都市学会に御入会下さいますよう切に希望する次第です。

=====

1. 代表的な年間活動

- (1) 学術雑誌『都市研究』を年1回発行。
- (2) 『近畿都市学会報』を年4回発行。
- (3) 学術雑誌『日本都市学会年報』を年1回発行。[日本都市学会事業]
- (4) 近畿都市学会大会を年2回開催。
(春季大会は大学・学術研究機関等、秋季大会は地方自治体)
- (5) 他に日本都市学会大会を年1回開催。[日本都市学会事業]
- (6) 日本都市学会賞（奥井賞、論文賞、特別賞（まちづくり賞、学術共同研究賞））

授与。[日本都市学会事業]

2. 普通会员の特典

- (1) 上記雑誌『都市研究』（年1巻）の購読・投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記雑誌『日本都市学会年報』（年1巻）の購読・投稿の機会。
- (4) 上記近畿都市学会大会（年2回）への参加・発表の機会。
- (5) 上記日本都市学会大会（年1回）への参加・発表の機会。

※日本都市学会は地方学会（近畿都市学会他）から同時入会となります。普通会员は、年会費8,000円（日本都市学会会費4,000円＋近畿都市学会会費4,000円）です。自治体・法人・企業等は、特別会員（年会費10,000円）となります。

3. 学生会員の特典（学生は普通会员のほか学生会員を選択することもできます）

- (1) 上記雑誌『都市研究』（年1巻）の購読・投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記近畿都市学会大会（年2回）への参加・発表の機会。

※学生会員は、年会費4,000円（近畿都市学会会費のみ）です。

4. 申込連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町1500 奈良大学文学部地理学教室（酒井研究室）内
近畿都市学会事務局 酒井 高正 eメール：info@kintoshi.org
ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

<2014年度会費納入のお願い>

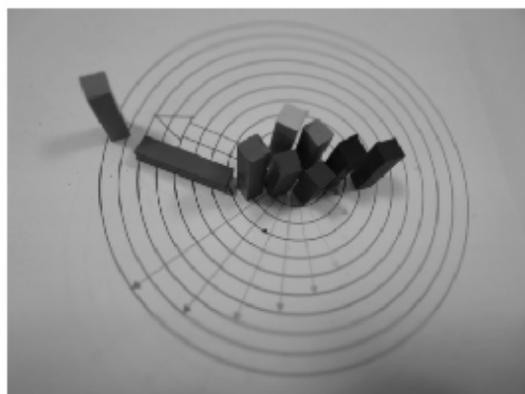
1 頁題字下に記載の口座に2014年度分会費を納入いただきたくお願いいたします。

・ゆうちょ銀行総合口座をお持ちの方はATMから口座間送金（電信振替）でお送りいただく手数料が無料になります。

・会費年額は、普通会员8,000円、学生会員等（近畿都市学会のみ）4,000円、名誉会員（日本都市学会にも在籍）4,000円、名誉会員（近畿都市学会のみ）無料、特別会員（団体）10,000円です。

都市構造 と 都市政策

近畿都市学会編 古今書院刊
288ページ
03-3291-2757



刊行！

『都市構造と都市政策』

都市政策の具体化、

構造化、総合化をめざして

—いま、都市構造からみる

都市政策

■ 21世紀は人類の過半が都市民となる「都市の時代」！
すぐれて空間的な存在で、都市問題、都市経済、都市経営、
都市計画、都市地理の一大転換期にある「都市」の課題を
構造的に整理し、都市政策を具体的に検討

■ 都市政策は一大転換期（モダンからポストモダンへ）！
急速な都市化の影で、先進国の都市は、都市間競争の激化、
人口減少社会への突入、産業空洞化など、
近代都市の発展の前提条件が崩れ、近代以来はじめて
直面する（ポストモダンの）環境変化に、
都市環境や経済基盤の構造的再編が否応なく求めら
れています！新たな課題の出現によって
「都市政策・地域づくり」はかつてない転換期に！

■ いま、新たな視点で【21世紀の都市政策の課題を
構造的・総合的に整理】！

Urban Policy Study based on Urban Structure Viewpoint

第Ⅰ部 21世紀の 都市構造の諸問題

「都市構造の変容（交通）」
「都市構造の変容（歴史と展望）」
「コンパクトシティ」
「都市構造と公共交通政策」
「人口変動と都市圏構造」
「高齢化と都市交通」
「郊外論 1—居住と通勤」
「郊外論 2—郊外の空洞化」
「都市発達史的にみた日本の
ニュータウンの特徴と
再生に向けた都市政策」
「中心市街地の衰退と再生」
「人口の都心回帰」

第Ⅱ部 セクター別 の構造と政策

「住宅市場の構造と特性」
「商業と都市構造の変化」
「都市における物流施策」
「工業と都市構造／政策」
「都市型新産業と都市構造
／政策—大阪湾ベイエリアは
BPE（Branch Plant Economy）
の圏から逃れることは
できるのか？」
「都市型新産業と都市構造
／政策—IT・
クリエイティブ系オフィス」

第Ⅲ部 都市構造と まちづくり

「GISとまちづくり（市民参加）」
「都市の発展と文化政策」
「都市と観光」
「医療・福祉とまちづくり」
「新たな社会システムとしての
住民主体のまちづくり」
「歴史資産を活かしたまちづくり」

第Ⅳ部 都市構造と 都市経営

「行財政論」
「都市経営の手法
（PPP・PFI事業：NPM）と
都市構造／政策」
「都市構造と防災政策」
「海外の都市政策の動向 1
—イギリス」
「海外の都市政策の動向 2
—欧州を中心に」
「海外の都市政策の動向 3
—創造階級論と都市の創造性」